



神奈川畜産情報

発行所
 神奈川県畜産会
 横浜市磯子区西町14-3
 畜産センター内
 電話 045(761)4191
 FAX 045(759)1162
 発行人
 大川 良一

(公社)中央畜産会からのお知らせ 畜産映像情報

がんばる!畜産!5

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
 配信内容:畜産の最新研究・技術を見る/豚の肉質を中心とした育種改良技術/新肉特集第1弾江戸文化を受け継ぐ東京しゃもを大特集/他

スマートフォンからはこちら
 パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

隔月1回(1日)発行

[神奈川畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます]

神奈川県畜産会のホームページ

[かながわ畜産ひろば] [http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm]

令和4年度特定家畜伝染病対策防疫演習を実施

神奈川県環境農政局農水産部畜産課

【はじめに】

本県では、本年3月に改訂した豚熱発生時対応マニュアルや策定した手順書の精度を向上させ、有事の際のより円滑な防疫作業に繋げるため、本年10月13日、県総合防災センターにおいて、畜産課、家畜保健衛生所、地域県政総合センター、県畜産会の共催により「神奈川県特定家畜伝染病対策防疫演習」を行いました。

この訓練では、マニュアルに新たに位置づけられた、防疫措置の全体マネジメントや進捗管理などを行う「指揮所」を設置し、指揮命令系統を確認するとともに、現場の農場を想定した殺処分訓練や、殺処分後の死体処理のためのレンタルリング訓練及び現地対策本部訓練を同時進行で行い、場面ごとの情報共有、連絡体制も確認しました。

当該訓練は、万が一県内養豚場で豚熱が発生してしまった場合の防疫作業を迅速に行い、豚熱ウイルスの感染拡大を早期に食い止め、周辺農場への影響を最少に抑える事

を目的としています。

【演習概要】

①現地対策本部訓練…昨年の豚熱発生時に混乱等が見られた指揮命令系統の確認、資機材の発注手順確認等を行いました。

また、酷暑等の状況下における防疫作業も想定されるため、併せて体調不良者の対応についても訓練を行いました。特に指揮命令系統の確認については、「指揮所」を実際に運営し、各班や関係団体との連携手順を確認しました。

②殺処分訓練…発生時における円滑な防疫作業を行うため、模擬肥育豚、子豚を使用した訓練(電殺、ガス殺等)を行いました。

③レンタルリング作業訓練…模擬レンタルリング装置を設置し、一般社団法人神奈川県建設業協会や公益社団法人神奈川県畜産資源循環協会等と連携し、重機を用いながら各レンタルリング作業班の動きの確認を行ったり、防疫作業従事者の委託を予定している民間機関の職員にも作業に加わってもらい、作業イメージの構築を行いました。



・指揮命令系統の確認
指揮所において、情報共有の確認、作業指示を行っている様子



・殺処分訓練
肥育豚を追い込み、電殺を行っている様子

訓練実施・参加者は9機関
125名、訓練観覧者は38機
関113名で、計238名が
演習に参加しました。

【演習を終えて】

県と各関係団体との連携による防疫作業や、マニュアルに位置づけた各班の間における連携等、実践に即した訓練を実施した事により、防疫作業への習熟度を高める事ができました。

また、後方支援(ベースキャンプ担当や現場事務所担当等)や防疫措置(農場殺処分担当やレンダリング作業担当)が一体となった訓練を実施する事により、防疫作業全体の内容を確認する良い機会となりました。

今回の防疫演習を通じて参加者や観覧者等からいただいたアンケート結果も踏まえ、防疫作業の手順および各関係機関の役割について再確認を行うとともに、マニュアルや手順書等に反映し、県内養豚場への影響を最少に抑えるべく、特定家畜伝染病の発生に備えた体制作りさらに取り組んでいきます。

(県畜産課 松本)



・レンダリング訓練(開封班)
死亡豚が入ったフレコンバックを開封している様子



・レンダリング訓練(梱包班)
密閉容器のラッピング方法について、県産業資源循環協会より指導を受けている様子



模擬レンダリング装置の設置の様子

県内の野鳥から
高病原性鳥インフルエンザの
感染の確認(9月25日)
を受けて!

県畜産会、JA中央会と全農は、今回の野鳥からのウイルス確認を受けて、農場内へのウイルス侵入を防止の一助になればと、10月7日より養鶏農家全戸にプーツカバー1箱(100枚入り)を家畜保健衛生所の巡回指導時に順次配布しております。

地方競馬の収益金は
畜産振興に役立てられています。

川崎競馬開催日

12月12日(月)~12月16日(金)ナイター

R5年1月1日(日)~1月6日(金)

ばっ気量の制御による浄化槽の低コストな運転方法

浄化槽は、汚水の水質と量（負荷量）に対して適切なばっ気量に調整して運転する必要があります。しかし、県内では固液分離が十分でなかったり、飼養頭数の増加などにより、負荷量が増大しているため、負荷量を確認せずにばっ気量が不足しないようにフルパワーでブロワを稼働している運転が多いのが実情です。ばっ気に掛かる電気代は、浄化槽の運転コストの中で、大きな割合を占めていることから、ブロワを制御できれば運転の低コスト化が図られます。そこで、浄化槽の負荷量によってばっ気量を調整し、無駄な電力を削減する方法について検討しました。

活性汚泥式の浄化槽では、酸素の消費量はBOD負荷量が高い場合は多く、BOD負荷量が低い場合には少なくなります。つまり、ばっ気槽中の溶存酸素（DO）濃度は、負荷量が高いと高くなりやすく、負荷量が低いと高くなりやすい状態になります。そこで、ばっ気槽のDO濃度を指標にして、ばっ気量を制御するシステム（DO制御システム）を試作しました。

試験は、豚用回分式浄化槽で実施しました。DO制御システム（図1）は、ばっ気槽にDOセンサーを設置して、DO値をモニターしてブロアーの運転を制御します。

ばっ気槽のDO値が1.0 mg/Lになると、ブロアーを停止し、0.8 mg/Lを下回ってから30分後に運転を再開する間欠制御方法



図1 DO制御システム
（左：浄化槽、中央：DOセンサー、右：制御装置）

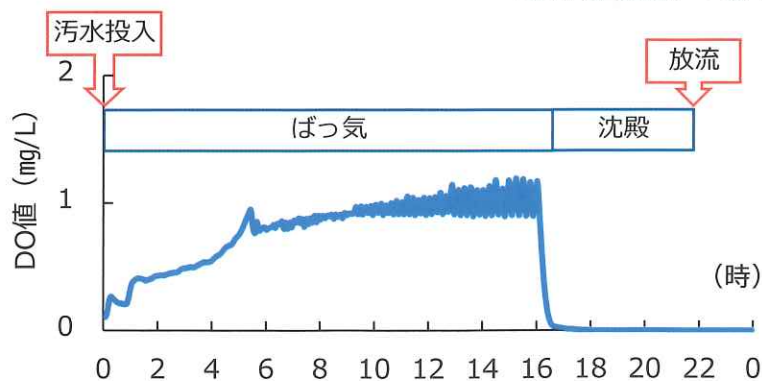


図2 ばっ気槽の1日のDO値の推移（10分間移動平均）

電力消費量は季節によりばらつきがありましたが、ばっ気量を制御しない場合と比較して、1日当たりの消費電力量を1割程度削減することができました（図3）。

しかし、この方法では、気温が低くなる冬に、汚泥の沈降速度が低下し、日によって放流前に十分沈殿せず、処理水のBODや浮遊物質（SS）が水質汚濁防止法の基準値以上となる問題があることがわかりました。

現在、冬場の汚泥の性質を改善し、農場で導入しやすい廉価版の制御システムの開発に取り組んでいます。

（企画研究課 松尾）

で行いました。

このDO制御システムにより、ばっ気槽のDO値は1.0mg/Lに近い値で制御することができました（図2）。

そこで、DO値による制御をせずに、連続してばっ気した従来の方法と、電力消費量を比較しました。

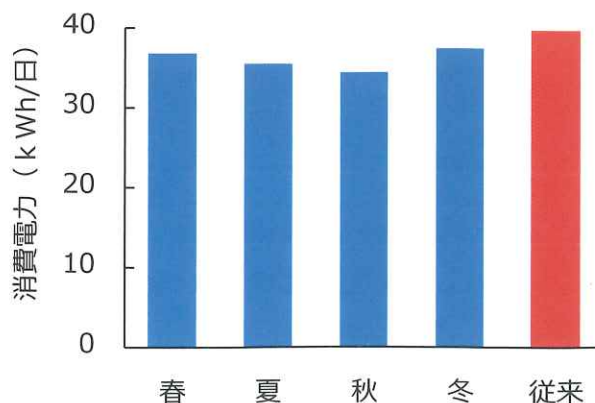


図3 1日の電力消費量

令和五年神奈川県飼料作物 奨励品種の指定について

令和四年十月に飼料作物奨励品種を指定しました。今回、「スノーデント110」（RM110 早生）、「パイオニア130日」（RM130 晩生）を追加しました。適正植栽本数等を守って栽培して下さい。トウモロコシ以外の草種については畜産技術センターのホームページをご覧ください。（県畜産課 池田）

【トウモロコシ】

品種名(系統名)	RM	早晚生	耐倒伏性	主な特性	指定年次
パイオニア 100日 (P9400)	100	極早生	○	乾物収量多い、二期作栽培の1作目に適する	H28
パイオニア 106日 (36B08)	106	極早生	◎	アップライト草姿、乾物収量多い、根腐病に強い	H15
パイオニア 108日 (34N84)	108	早生	◎	乾物収量多い、二期作栽培の1作目にも利用できる	H30
スノーデント 110 (LG30500)	110	早生	◎	乾物収量多い、二期作栽培の1作目に適する	R5
スノーデント 115 (SH4681)	115	早生	○	乾物収量多い、雌穂割合が高い	H19
パイオニア 115日 (P1690)	115	早生	◎	乾物収量多い	H27
NS115 スーパー (KE9601)	115	早生	◎	乾物収量多い	H27
Z-Corn 115 (ZX3158)	115	早生	○	乾物収量多い	R3
ゴールドデント KD671 (KD671)	117	早生	◎	乾物収量多い	H30
パイオニア 118日 (P2088)	118	早生	○	乾物収量多い	H28
Z-Corn 118 (ZX4182)	118	早生	◎	乾物収量多い	H29
スノーデント 118R (SH5702)	118	早生	◎	乾物収量多い	R4
ゴールドデント KD731 (KD731)	123	中生	○	乾物収量多い、二期作栽培の2作目にも利用できる	H28
パイオニア 130日 (P3893)	130	晩生	◎	乾物収量多い、二期作栽培の2作目に適する	R5

「畜産気象災害の技術対策マニュアル」を作成しました



近年、地球温暖化の影響で気象の変化が大きく、台風などで大きな被害があったというニュースをよく目にします。そんな中、神奈川県畜産課では、神奈川県畜産技術センターの協力のもと、家畜や畜舎等への被害を最小限に食い止めるための技術対策をまとめた「畜産気象災害の技術対策マニュアル」を作成しました。

農家の皆様に広く活用していただき、いざという時にあわてないように普段から災害に備えていきましょう。

「畜産気象災害の技術対策マニュアル」（目次）

1. 台風についての技術対策（畜種共通）
2. 停電についての技術対策（畜種共通・酪農・肉牛・養豚・養鶏）
3. 断水についての技術対策（畜種共通・酪農）
4. 暑熱についての技術対策（畜種共通・酪農・肉牛・養豚・養鶏）
5. 積雪についての技術対策（畜種共通）
6. 寒冷についての技術対策（畜種共通・酪農・肉牛・養豚・養鶏）
7. 飼料作物の集中豪雨・長雨についての技術対策
8. (参考)飼料高騰についての技術対策（畜種共通・酪農・肉牛・養豚・養鶏）



HP：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/w5c/tikusankisyousaigai.html>

☆掲載例

「停電についての技術対策」（畜種共通）の事前対策より

- ・農場に必要な電力量（全体、個々の機器）を把握しておきましょう。
- ・必要な電力量に応じた発電機を準備しましょう。発電機の確保は、購入する手段のほかにもレンタル契約や共同使用などの手段もあるので可能な手段で検討しましょう。



音楽の秋、防疫の秋

学生時代オーケストラに所属していた私は、当時の仲間から演奏会の案内が送られてくると、秋が来たことを感じます。一方で、少し気の早いクリスマスソングの音色は、人も動物も病気になるやすい時期の到来を告げてきます。

秋雨が降る十月十三日、県では豚熱発生を想定した訓練を行いました。県、市町村、関係機関、他都道府県の観覧者を含め二百三十人以上が参加した、コロナ禍以降県内最大の家畜伝染病防疫訓練となりました。

私は初めて運営者側として、訓練を行いました。昨年度の相模原の豚熱発生事例から丸一年。当時の反省を踏まえた改定後の発生時マニュアルに基づき運用訓練を行いました。普段畜産業とは接点の少ない職員や、大人数への指示では、意思疎通に苦慮する場面もありました。そんな訓練中、ふと学生時代のオーケストラでの経験の記憶がよみがえりました。

鳥インフルエンザ発生予防のための農家支援等の取組みについて

令和四年九月二十五日に伊勢原市で回収された野鳥で、県内では初となる高病原性鳥インフルエンザ（以下、鳥フル）の感染が確認されました。その後も国内で野鳥の陽性事例

楽譜（マニュアル）があり、指揮者があり、奏者（作業者）がいる。トラブルがあると各楽器パート（役割）が臨機応変に対応する。臨機応変に対応するには各楽器パート（役割）の楽譜（マニュアル）を把握し、指揮者の的確な合図が必要。そして、演奏（防疫作業）を完奏するには練習時の反省点を各パート内で確認し、改善することこそ重要である、と。今シーズン初の野鳥鳥インフルエンザ

家保だより

陽性事例は、残念なことに神奈川県内で発見されました。実際に農場で発生すると、家保は喜ばれることのない仕事をしなければなりません。ですが、神奈川県内の畜産を守ることにつながる信じて、先日の訓練を振り返りながら、いざというときに動けるよう、家保パートでの訓練を引き続き行っていきます。すでに生産者の皆様には、衛生管理の確認をお願いしていますが、今シーズンにより警戒していただきながら、良いいクリスマスをお迎えください。

（県家保企画指導課 岡）

が確認されており、昨シーズンよりも一か月以上早く、鳥フルの流行シーズンを迎えました。

県内の鳥フル発生リスクが高まっています。農家では、

衛生管理区域内に野鳥由来のウイルスが存在している可能性を念頭に置いた対策が必要となります。消毒や着替え・履き替え、野鳥・ネズミ対策といった対策をひとつひとつ積み上げ、鶏舎内に侵入するウイルス量を、鶏が感染しないレベルまで低減することが重要です。今年度も十月から、飼養衛生管理基準に関して、七項目の自己点検を実施いただいておりますが、引き続き、衛生管理の継続・徹底をよろしく願います。

県では、養鶏農家に対して、鳥フル発生予防のための飼養衛生管理強化の取組みを支援する対策事業等を実施しています。その内容についてご紹介します。

一、ネズミ対策の推進…ネズミは鶏舎内外を行き来します。ネズミは水をたくさん飲む動物なので、鶏舎外に水場がある場合、そこで野鳥との接点が生まれ、ネズミの体表についてたウイルスが鶏舎内に持ち込まれるリスクが高くなります。病原体の持ち込みだけでなく、飼料や電気配線の被害も大きな問題となります（クマネズミ五百匹で年間五トンの飼料を食害すると言われています）。

家畜保健衛生所では、養鶏農家への巡回の際に、殺鼠剤や捕獲かご等を配布し、ネズミ対策を指導しています。農場内を整理整頓・点検し、

ネズミの隠れる場所や、鶏舎周辺の水場をなくす取組みも重要です。

ひとつの対策を続けていると、ねずみが慣れてしまい、効果が上がらなくなることもあります。この機会に、新しい対策もご検討ください。

二、消毒の徹底…県内での野鳥感染事例をうけて、県ではすべての家きん飼養施設に対し、十月八日からの消毒命令を発出しました。シーズン中は、消石灰等を用いた農場・鶏舎周辺の定期的な消毒をお願いします。

今年度は、家畜保健衛生所が巡回の際に、液体消毒薬（逆性せっけん）を持参して消毒の指導を行っています。気温が低下すると逆性せっけんの効果が低くなることに注意し、踏込消毒槽の使用と併せて、長靴の履き替えも徹底していただくよう、お願いいたします。

三、野鳥の侵入防止対策…交差汚染防止対策…家畜保健衛生所は巡回の際に、長靴や長靴の収納ボックス、補修用の防鳥ネット等の資材を配布しています。また、昨年度に引き続き、（一社）神奈川県畜産会を窓口として、防鳥ネットや動力噴霧器等の補助を行っています。これらを活用いただき、農場の状況に合わせた対策をお願いします。

（県畜産課 石原）

令和四年度鶏魂供養祭が 開催される

去る十月十三日(木)、大雄山最乗寺において恒例の鶏魂供養祭が執り行われました。

三年ぶりに関係者一堂が会して開催ができ、幾多の鶏の御霊に対し心魂込めて供養いたしました。

(畜産会養鶏部会 倉迫)



鶏魂供養祭の様子

牛マルキン

(肉用牛肥育経営安定交付金制度)

交付状況

令和四年七月・八月(概算)の交付金単価(肥育牛一頭当たり)

○肉専用種

七月 交付なし

八月 八二、八〇六・五円

○交雑種

七月 二九、九一〇・八円

戸籍の無い子が無いように 三百日の根拠は如何に？

法務省によると、戸籍の無い人が二〇二二年八月現在で七九三人もいるが、その原因の七割が嫡出子推定の離婚後三〇〇日規定が原因とのこと。子の血縁上の父親が前夫でなくても、戸籍上は前夫の子として扱われてしまふことを避けるために、母親が生届を拒んで、子供が無戸籍になってしまうことが多いとのこと。三〇〇日とは何に基づいたのか。もちろんヒト(人間)の妊娠期間である。我々畜産業では牛や豚の妊娠期間を牛は二七〇日、豚は一一四日と、

日数で確認管理しているが、ヒトの妊娠期間を正確に知らない方々が多いことに驚かされる。以前、ある会合で医大の看護学部女性教授に、ヒトの妊娠日数を尋ねたところ、正確に答えてくれなかった。獣医師も専

新むらすずめ

門分野別で知識技術が片寄り、畜産関係の獣医師は犬猫等ペット動物について知らないことがたくさんあるが、看護学部の女性教授が妊娠期間に無頓着なのは驚いた。ヒトの場合は最終月経の日から起算

して十月十日(二九〇日)とよく言われるが、産婦人科の医師の答えは二六六日(三八週間)であると。これは受精日からの正確な妊娠の日数期間だった。「牛は何日で赤ちゃん生むの?」と聞かれると、私は「ヒトと同じだよ。」と答えるが、どうもピンと来ないらしい。「だってホントだよ。ヒトは二六六日で、乳牛は二七〇日が標準だよ。」昔のこと、「獣医さんがうちの牛に受精した日に、出稼ぎに行っていた主人が帰って来たの。そして八ヶ月半とチョット過ぎた頃、牛と一緒に私もこの子を出産したのよ。」

三百代言の話じゃないよ。(忠九朗)

○乳用種

八月 四三、三二〇・八円

七月 三四、三八〇・二円

八月 四一、七五五・七円

(畜産会 倉迫)

肉用子牛生産者

補給金制度

令和四年度第2四半期(四年七月)

九月)の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。

黒毛和種 六〇五、四〇〇円

交雑種 二七五、四〇〇円

乳用種 一四九、五〇〇円

乳用種は保証基準価格(一六四、〇〇〇円)を下回りましたので、その

差額、一四、五〇〇円の生産者補給金が交付されることになりました。

(畜産会 香取)